

令和6年度 評価規準

学 年	科目名	単位数	担当者名	使用教科書・副教材
第1学年	科学と人間生活	2	斎藤文孝	東京書籍「科学と人間生活」(科人 701)
内容 (科学技術の発展)				
知識・技能	・科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解している。			
思考・判断・表現	・科学技術の発展と人間生活との関わりについて科学的に考察し表現することができる。			
主体的に学習に取り組む態度	・自然の事物・現象に進んで関わり、科学に対する興味・関心を高め、科学的に探究しようとしている。			
内容 (人間生活の中の科学)				
知識・技能	<p>身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、それらについての観察、実験などを通して、「光や熱の科学」、「物質の科学」、「生命の科学」、「宇宙や地球の科学」と人間生活との関わりについて認識を深めるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>「光や熱の科学」 ⑦ 光の性質とその利用 光に関する観察、実験などを行い、光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解している。</p> <p>「物質の科学」 ⑦ 材料とその再利用 身近な材料に関する観察、実験などを行い、金属やプラスチックの種類、性質及び用途と資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解している。</p> <p>「生命の科学」 ① 微生物とその利用 微生物に関する観察、実験などを行い、微生物の働きを人間生活と関連付けて理解している。</p> <p>「宇宙や地球の科学」 ⑦ 太陽と地球 天体に関する観察、実験などを行い、太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解している。</p>			
思考・判断・表現	光や熱の科学、物質の科学、生命の科学、宇宙や地球の科学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現することができる。			
主体的に学習に取り組む態度	・自然の事物・現象に進んで関わり、科学に対する興味・関心を高め、科学的に探究しようとしている。			
内容 (これからの科学と人間生活)				
知識・技能	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての学習を踏まえて、課題を設定し探究することで、これからの科学と人間生活との関わり方について認識を深めている。			
思考・判断・表現	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての学習を踏まえて、課題を設定し探究することで、これからの科学と人間生活との関わり方について科学的に考察し表現することができる。			
主体的に学習に取り組む態度	・自然の事物・現象に進んで関わり、科学に対する興味・関心を高め、科学的に探究しようとしている。			